



2022年1月23日 (第205号)
発行所 カトリック高松教区 広報委員会
〒760-0074 高松市桜町1-8-9
TEL 087-831-6659 FAX 087-833-1484
Email
教区:catholic-takamatsu@takamatsu.catholic.jp
広報:tk-koho@mxi.netwave.or.jp
生涯養成:yousei@takamatsu.catholic.jp
WEB http://www.takamatsu.catholic.ne.jp/

カトリック高松教区報

マザー・テレサの言葉

今、この瞬間幸せではないでしょうか。
その瞬間、瞬間が、私たちの求めていたものすべてであって、他には何もいらぬのです。



コロナ禍のクリスマス 困難の中でも迎える喜び

コロナ禍で2度目の待降節・降誕祭。大きな喜びの時であることは変わらないものの、コロナ前には思いもしなかった制約の中で迎えたクリスマスの様子です。

感染防止を意識しながら良きクリスマス

2020年度四旬節さながら新型コロナウイルスが猛威を振るい、4月7日に緊急事態宣言が出たからは、聖週間復活祭も自宅で祈るしか無い状態となった。

緊急事態宣言解除後、ミサは再開され、少しずつ活動を始めたが、ほとんどコロナウイルス感染予防対策であった。マスクの着用、連絡先の記入、入室前の手指消毒、座席には密状態防止のため聖句を書いたカードの設置、聖体拝領時は手指消毒と並んでいるときの間隔を取る等注意を払った。

また、ミサに来ることが出来ない人のためにユーチューブでミサの状況を配信したり、信徒間の連絡が途絶えることが無いようにするために名簿・連絡網整備に取りかかった。

2020年度のクリスマスでは、参加者が多くなるため更なる感染予防に対する注意が必要となった。密を避ける

ためご降誕ミサの回数を4回に増やし、参加者を分散させることとした。また、事前に参加人数を把握し、分散を図るため、ミサ参加の希望時間を記入してもらった。

しかし、通常のミサには来られないが、大祝日のミサには参加したいという信徒、近所の方の人数まで把握しきれず、予測の3倍近くの人数となった時間帯もあった。来られた方に入堂を断ることも行わなかったが、コロナ感染者が出なかったことは幸いであった。

今年のクリスマスは、感染状況が昨年に比べ落ち着いているため、パーティーこそ出来ないが、手作りのクリスマスケーキのプレゼントを用意している。

皆で声を合わせ祈ったり歌ったりという通常に戻るまで、今年も一人ひとりが会話を我慢し密を避け、感染防止を意識しながら良きクリスマスをお過ごししていきたいと思う。

職場では勿論、街を歩いても、マスク無しで歩く人を見かけることが難しくなりました。公共機関からの呼びかけに合わせ、公開ミサの自粛が

クリスマス到来を心から喜んで

桜町教会 佐藤悦朗

待降節のミサでのお話のテーマは、ご降誕の意味についてだっと思えます。

奴隷として虐げられてきました。神は、その民の苦しみをみて、その嘆きを聞かれ、モーセによって直接人間の歴史に介入されました。そしてまた、ダビデ王以降、神への不信仰からイスラエルは他国に何度も蹂躪され、捕囚により流浪の民となり、神から捨てられたようになり、神から捨てられた希望が見えない混沌の中で人々は救い主を喘ぎ求めたのだと思います。

神様は、人間の力ではどうにもできない人生の根本の問題にまで触れられました。私達を罪の束縛から救うために、ご降誕によって人間の歴史に御自ら直接介入されたのだと思います。

救い主に出会うために、心が求められました。洗者ヨハネはそのために遣わされました。私達もその声を聴き、「それなら、私達はどうすればよいのですか」と尋ねたのでした。

第3主日ではご降誕を前に「喜びなさい」と何度も呼び掛けられています。無償で与えられる神様からの赦しに対し、心から感謝して応えるためです。

喜びの頂点のクリスマスです。私がどんなに悔んでも、神様は私を洗礼の道へと導いてくださいます。その愛に込めるべく、私達はクリスマスをお心から喜んで、お互いに「おめでとう！」と声を掛け合いました。

400年の長きにわたり、イスラエルの民はエジプトで

全国教区広報会議

広報担当者がオンラインで情報交換

昨年11月12日(金)、全国教区広報担当者会議が開かれた。Zoomを使った行われたオンライン会議では、4つのテーマで分かち合いが行われた。

① コロナ禍における広報・高齢者への広報

コロナ禍のため教会に行けず、ネットが使えなくて紙媒体に頼る人が情報を入りにくい事態が生じた。広報誌等を信徒宅に郵送したり、訪問して手渡しする小教区があるなどそれぞれ工夫をしている。(ルーテルのある教会では、信徒がタブレットを持参して、教会に来られない信徒宅を訪問し、牧師の話を一緒に視聴する取り組みをしている。)

② ソーシャルメディア利用ガイドライン

横浜教区の「小教区HP規約」、広島教区の「ソーシャルメディアの利用に関する指針」についての紹介があった。HP作成の要領や司祭がSNSを利用する際の教区への届出などを規定したもの。

教会では著作権に対する意識が高くない現状が散見される(聖歌集のコピー配付など)。また、オンライン礼拝における著作権についても、現状は違反が多い。コロナが一段落したら、問題視される可能性がある。

③ HPリニューアル

福岡教区から、教区HPリニューアルについて発表があった。2017年に検討を開始し、2019年10月の教皇訪日にあわせて新HPを開発した。

④ 広報担当者の交代に関する

高松教区から、広報担当者の交代やITの活用に関する苦慮していることなどを発表した。広報の組織としては教区内の地区ブロックに広報担当者をおいて協力していただいている。教区職員が広報を担当している例が多いが、高松では教区職員ではない一般信徒が広報委員を務めており、教区報の編集、HPの管理なども一般信徒が行っている。HPについては運営管理の持続性について不安があり、運営管理の一部を業者に依頼するのが理想と考えている。

はばたき

2023年に開催されるシノドス・世界代表司教会議。テーマは「ともに歩む教会のため・交わり、参加、そして宣教」で、教会にゆだねられた使命に従って福音をのべ伝える教会の刷新のため、それぞれの現場で、聖職者、修道者、そして信徒がどのような経験をし、困難に遭遇し、どのように霊に導かれていくのかという声を、世界中から集めていくこと。(カトリック中央協議会のホームページより)

一番最初にいただいた準備文書という資料は16ページもある上、シノドスの教会、シノダリティの実践など聞き慣れないカタカナ混じりの言葉があった。なんだか気後れしてしまいました。その後、教区報で紹介されたYoutubeで配信されたりましたが、やっぱり難しいなあという感じです。

そんな中、準備文書に示されたテーマについて分かち合いが行われました。分かち合いに参加してみると、テーマごとに具体的な質問があり、それに対して自分の経験や思うことを述べると、そんなに難しいことではなく、メンバーの話を聞いて気付くことがあったりして、こうした声を世界中から集めるのだなあということが、分かりました。また、シノドスの準備は、自分の通う教会をどんな教会にしたいのかを考える事にながっていると思いました。

小教区で集められた声が教区に提出されます。まだ時間があるようなので、また分かち合いに参加したいと思えます。

地区・プロジェクトの話題

徳島地区

教会は家族みたい

鳴門教会 ベトナム人青年ベトナムにいたときは毎週日曜日にカトリック教会に行っていました。日本に来たとき近くに教会がないと思っていたら、先輩が連れて行ってくれました。教会は家から自転車20分ぐらいかかります。教会には若い人は少なく、年配の人が多くて、日本人の神父とインド人の神父がいます。皆さん、とても親切で感謝したいです。

初めて教会に行ったとき、私は外国人なので教会の人は私が理解できるように簡単な日本語で話してくれました。そして、ベトナム人のための日本語クラスがあります。無料で、日本人の先生は親切で熱心に教えてくれました。教会の皆さんは親しくて、よく果物や野菜をくれます。去年、私とベトナムのグループを登山に連れて行ってくれました。神父さんも一緒にいて、いっぱい喋りました。日本語が分からないときは神父さんが英語で話してくれました。優しいです。そして、藍染も体験しました。藍染は徳島県で有名です。とても面白かったです。教会の信者さんの日本人が連れて行ってくれなかったら私は自分で色々面白いことを知ることが出来ません。クリスマスの日には私たちは飾り付けをしたり、おいしい料理を作ったり、歌ったりプレゼントをあげたりしました。楽しかったです。春には教会で餅作りをしました。教会で



シノドスの歩み
Synod 2021 2023
For a synodal Church
communion | participation | mission

シノドスは質問の「答え」を求めているわけではありません。テーマについて話し合うことによって、「旅する教会」が、新しい姿へと刷新されることを望んでいます。

◇教区スケジュール◇

- 1月 1日 (土) 神の母聖マリア
- 2日 (日) 主の公現
- 9日 (日) 主の洗礼
- 10日 (月) 成人の日
- 11日 (火) 責任役員会 11:00
- 16日 (日) 年間第2主日
- 18日 (火) キリスト教一致祈禱週間 (25日まで) 司牧者懇談会・司祭評議会 10:00
- 23日 (日) 年間第3主日 (神のことばの主日)
- 25日 (火) 聖パウロの回心
- 30日 (日) 年間第4主日 世界子ども助け合いの日

- 2月 2日 (水) 主の奉献
- 3日 (木) 福者ユスト 高山右近殉教者
- 5日 (土) 日本26聖人殉教者
- 6日 (日) 年間第5主日
- 11日 (金) ルルドの聖母 世界病者の日
- 13日 (日) 年間第6主日
- 20日 (日) 年間第7主日
- 22日 (火) 聖ペトロの使徒座
- 23日 (水) 天皇誕生日
- 27日 (日) 年間第8主日

私が理解できるように簡単な日本語で話してくれました。そして、ベトナム人のための日本語クラスがあります。無料で、日本人の先生は親切で熱心に教えてくれました。教会の皆さんは親しくて、よく果物や野菜をくれます。去年、私とベトナムのグループを登山に連れて行ってくれました。神父さんも一緒にいて、いっぱい喋りました。日本語が分からないときは神父さんが英語で話してくれました。優しいです。そして、藍染も体験しました。藍染は徳島県で有名です。とても面白かったです。教会の信者さんの日本人が連れて行ってくれなかったら私は自分で色々面白いことを知ることが出来ません。クリスマスの日には私たちは飾り付けをしたり、おいしい料理を作ったり、歌ったりプレゼントをあげたりしました。楽しかったです。春には教会で餅作りをしました。教会で



皆さんといろいろ面白い活動が出来ました。家族がいなので日本での生活は少し寂しいですが毎週教会に行っていて皆さんに会って、喋って、うれしかったです。日本人の神父はもう85歳です。

いる日に寝そうな顔で教会に行くこと神父さんは近づいて話しかけてくれました。私はすぐに元気になりました。最近新型コロナウイルス感染が増えているので、日本人と食事が出来なくて、日本

人と活動も中止になって悲しいです。教会のみなさんと一緒に活動が出来ることが望みます。私はそろそろベトナムへ帰ります。みなさんがいないと寂しいですけど、また会いたいです。



※編集注
日本人神父 乾神父
インド人神父
イスティブ神父

降誕祭を前に

フードバンクにチャレンジ 外国人信徒とともに

徳島教会

コロナ禍にあり出来る教会行事も限られる中、徳島教会では「フードバンク」という新しい試みにチャレンジした。2021年2月、2回目の緊急事態宣言が発令され、コロナ禍により離職に追い込まれる悲惨なニュースが流れていた。その多くは高齢者、派遣社員、パート社員、アルバイトの方々、海外からの技能実習生も含まれていた。

今回待降節に行う第2回目のフードバンクでは、海外からの技能実習生だけでなく日本人を含む「食料難で困っている方、信徒でなくても知り合いの方で困っている方」へと対象を拡げている。フードバンクとくしまにも寄付を行う予定である。信徒以外の方々からも多くの寄付を頂くことができた。小規模であるが皆で生活困窮者の支えになることが出来ればと思う。

11月13日、四国カトリック会館に大阪のフィリピン総領事館のスタッフが大勢きてくださり、パスポートの更新をしてくださいました。

200人近い方が集まりました。感染防止のため、会場に一度に入る人数を制限したり、手続きは手際よく進められました。当日は、フィリピン総領事ご夫妻もいらっしゃいました。ご厚意に感謝いたします。

徳島教会には過去フィリピン・アジア諸国、からの労働者が多かったが、近年では特にベトナムからの技能実習生が多くなっている。信徒の一人から、海外から働きに来ている人たちに支援をしようという提案があり、宣教福祉委員会メンバーが中心となって、フードバンクを行う事となった。お米・缶詰・乾麺・レトルト食品

など日持ちする食品の寄付を呼びかけ、2月半ばから集めた。そして、3月の四旬節中に必要とする方に持ち帰って頂いた。また集めた一部を、日本の困っている方々にも寄付をしようとして「フードバンクとくしま」へも寄付を行った。

待降節の行事として、西讃地区の黙想会がリモートで福岡教区の山本神父様に講話をして頂いた。テーマは「シノドスと待降節について」、12月3日10時から、それぞれの教会に集まった信者達にリモートで配信し、スクリーンを見ながら、後でディスカッションを行った。



西讃ブロック

黙想会をオンラインで

丸亀教会

待降節の行事として、西讃地区の黙想会がリモートで福岡教区の山本神父様に講話をして頂いた。テーマは「シノドスと待降節について」、12月3日10時から、それぞれの教会に集まった信者達にリモートで配信し、スクリーンを見ながら、後でディスカッションを行った。

また、後日12月5日ミサ後、信徒会館において、当日参加していなかった信者のためにプロジェクトで投射し分かち合いを行った。12月12日は、それぞれの教会でゆるしの秘跡に与った。

- ・観音寺・三島教会
- ・イスマエル神父
- ・丸亀教会
- ・ホルヘ神父
- ・坂出教会
- ・池田教会
- ・高山神父

東讃ブロック

フィリピンのパスポートを出張更新

桜町教会

11月13日、四国カトリック会館に大阪のフィリピン総領事館のスタッフが大勢きてくださり、パスポートの更新をしてくださいました。

200人近い方が集まりました。感染防止のため、会場に一度に入る人数を制限したり、手続きは手際よく進められました。当日は、フィリピン総領事ご夫妻もいらっしゃいました。ご厚意に感謝いたします。

子どもと女性をまもる委員会

聖職者による性的虐待

相談窓口

電話番号：087-831-6659

相談窓口受付時間
月曜日から金曜日（祝日除く）
午前9時～午後5時

高松教区対応チーム

